1. 豊かな自然環境がある

- 原海岸や千本浜など海沿いを楽しめる空間がある
- 湧水に恵まれ水がきれいでおいしい など

2. 多くの歴史資源に恵まれている

- 白隠禅師ゆかりの松陰寺など有名なお寺が多い
- 若い人に伝えていきたい歴史的遺産がある など

3. 生活の利便性が高い

- 静かで住みやすい環境
- 大型商業施設や魅力的な個店がある など

4. 地域住民のつながりが良い

- 高齢者や子どもを見守るつながりがある
- 住民の仲間意識が強い など

🖋 校区の課題

1. 少子高齢化が進んでいる

- 少子高齢化と核家族化が進んでいる
- 成長した子どもが転出してしまう など

2. 子どもの遊び場が少ない

● 子どもの遊び場が少なく富士市に行ってしまう など

3. 道路・交通環境に課題がある

- 自転車の運転マナーが悪い
- 夜の通行時に暗くて危ない など

4. 情報発信が弱い

● 自治会内だけにしか情報が伝わっていない など

校区のまちづくりの方向

1. 豊かな自然環境と歴史資源を活かしたまち

- ① 海を活用したまちづくり
 - 海を活かしたイベントの開催
 - ・ 駐車場や看板の設置など海岸沿いに人が集まりや すい環境を整える
- ② 地域資源への関心を高める
 - 地域の歴史を伝える場・語り継ぐ場の創出
 - 子どもが参加する歴史勉強会の開催
 - 水汲み場を住民で守る

2. 活気あふれるまち

- ① 人が集まりやすい場所を作る
 - 道の駅などのにぎわいの拠点整備の検討
 - 地区センターの利活用
- ② 地元の個店を応援する
 - 地元の商店を積極的に利用する
 - ラブライブなどの新しいコンテンツとの連携を検討

3. 安全・安心なまち

- ① 災害に備えた体制をつくる
 - 防災センターや津波避難タワー設置の検討
- 災害時の要支援者対応の検討
- ② 高齢者にやさしいまちづくり
 - 高齢者の見守りへの協力者の確保
- 高齢者向けの交通安全教室の開催
- ③ 校区の危険情報を共有する
 - 不審者情報を校区内で共有できる仕組みの検討

4. 住民のつながりが強いまち

- ① 地域の情報を広く伝える
 - 自治会とのつながりが希薄な人にも情報が伝わる仕組みの検討

炒校区の特徴

1. 豊かな自然環境がある

- 海・山に近く自然に囲まれている
- ひまわり畑や野生動物に会える環境が自慢
- 湧水に恵まれ水がおいしい など

2. 興国寺城跡は地域の資源

● 興国寺城跡のこれからの整備に期待 など

3. 高速道路の利便性が高い

- スマートインターチェンジが近く車移動が便利
- 駿河湾沼津SAなど新東名が活用できる など

4. 地域住民のつながりが良い

- お祭りなど地域の行事がにぎわっている
- ご近所づきあいが良く声を掛け合える など

∅ 校区の課題

1. 道路・交通環境に課題がある

- 公共交通機関(バス)が少ない
- 交通のアクセスが良くない など
- 交通量が増えて事故が多い
- 通学路が整備されていない など

2. 商工業が弱い

- 大型スーパー等がなく校区外に買い物に行く
- 地元企業が少ない など

3. 生活環境に問題がある

- ゴミ出しのルールが守られていない
- 犬猫の糞害が増えている など

校区のまちづくりの方向

1. 豊かな自然環境を活かしたまち

- ① 自然を活用したまちづくり
 - 野鳥やほたるの観察場の整備
 - ウォーキングコースや湧水ステーションの設定
 - 豊かな自然の積極的なPR
- ② 地域資源を活用する
 - 湧水を活用したコーヒーなどの名産品の創出
 - 東海大学跡地の利用

2. 交通の利便性の高いまち

- ① バスによる利便性を高める
 - 小型バスなどを利用して運行を充実させる
 - 駅や商業施設などの拠点とを結ぶ周遊バスの検討
- ② 道路交通の利便性を高める
 - 南北交通のアクセスを整備する

3. 安全・安心なまち

- ① 安全な道路整備を進める
 - ・ 往ばいの増設や往ばれ色の工夫を行う。
 - 歩道の安全確保
- ② 防災対策を進める
 - シェルターなどの防災システムの検討

4. 住民が住みやすさを感じるまちづくり

- ① 子育てのしやすいまち
 - 子どもが集まるイベントや施設の検討
 - ITを利用した子育てのしやすさのPRを進める
- ② 高齢者の力を活用する
 - 高齢者による地域の見守り活動
- ③ 地域の人のつながりを強める
 - 外国人も含め転入してきた人のコミュニティへの受け 入れを強化

1. 豊かな自然環境がある

- 湧水や緑豊かな自然に恵まれている
- 風光明媚な景観が素晴らしい など

2. 新たな拠点による活性化が期待される

- 愛鷹SIC設置による利便性の向上
- ららぽーとができることによる地域の活性化 など

3. 生活の利便性が高い

- 市立病院や個人病院が多い
- 買い物などの日常生活に必要な施設は十分 など

4. 地域住民のつながりが良い

- あいさつが盛んで地域の人が親しみやすい
- 住民によるまちおこしが行われている など

🖋 校区の課題

1. 道路・交通環境に課題がある

- 根方街道や地域内の道路の幅員が狭い
- SICやららぽーとの影響での渋滞や事故が不安
- 街灯が少なく夜間の通行が不安
- 公共交通の利便性が悪い など

2. 災害対応に不安がある

● 避難場所やブロック塀改修等の対応が不安 など

3. 生活環境に問題がある

● ごみのポイ捨てや不法投棄で困っている など

校区のまちづくりの方向

1. 高齢者や子どもにやさしいまち

- ① 高齢化対策を進める
 - 健康寿命を延ばす取り組みを進める
 - 民間・公共と連携した施策の検討
- ② 子育て・教育環境を充実させる
 - 女性の活躍の場の創出
 - 高齢者ボランティアなどによる子ども預かりの充実
 - 子どもが遊べる公園の整備

2. 愛鷹ブランドの確立とPR

- ① バランスの取れた産業振興を推進する
 - 農業、工業、商業のバランスが取れた振興を図る
 - 個性のある質の高い農産物や加工品の生産
 - 道の駅など農産物の販売拠点の検討
- ② 魅力ある土地利用を検討する
 - ららぽーとと市立病院周辺の土地利用の検討
 - 校区の個性をアピールするランドマークの検討
- ③ 商業施設の活用とPR
 - ららぽーとができることのメリット・デメリットの検討
 - 商業施設と地域住民との連携を図る

3. 安全・安心なまち

- ① 安全な道路整備を進める
 - 道路の拡幅や歩道の整備を進める
 - 街灯を増設し夜間通行の安全を確保する
 - 通学路の安全確保を進める
 - スマホなどを利用した道路不具合通報システムの開発
- ② 災害に強いまちづくりに取り組む
 - 安全な避難場所の設置と避難路の確保
 - みなし避難所の対応や避難所の二次活用の検討
 - 一人暮らしの高齢者など災害弱者の対応を進める
 - 災害時の情報発信や防災教育の強化

4. 住民が住みやすさを感じるまち

- ① 校区内での交流を促進する
 - 積極的なあいさつのかけあい
 - 住民同士での助け合いの強化
 - 高齢者と若者をつなげる仕組みの検討
- ② 不法投棄対策を講じる
 - 防犯カメラや監視看板の設置

ららぽーと沼津

1. 豊かな自然環境がある

- 千本松原と公園が自慢
- 海岸線や富士山を望む景観が素晴らしい など

2. 歴史資源に恵まれている

- 校区内を歴史的な旧東海道が通っている
- 古墳(神明塚古墳)がある など

3. 生活の利便性が高い

- 駅に近く交通の便が良い
- 日常の買い物が便利 など

4. 地域住民のつながりが良い

- コミュニティの活動が盛んに行われている
- ご近所との関わりが多い など

🖋 校区の課題

1. 道路・交通環境に課題がある

- 生活道路が狭い
- 歩道が狭く通学路が危険
- 南北の道路が少ない(アクセスが悪い) など

2. 憩いの場が少ない

● 公園などの遊び場が少ない など

3. 生活環境に問題がある

- 海岸のゴミが多い
- 空き家が増えている など

校区のまちづくりの方向

AND PARTY OF THE P

1. 地域資源を活かしたまち

- ① 魅力的なイベントの開催
 - 花火大会などのイベントの検討
 - 公園、堤防、車両基地等でのイベントの開催
- ② にぎわいの拠点づくり
 - 文化財センター跡地を活用した拠点の整備
 - 神社を活用した公園整備

2. 若い世代が集まるまち

- ① 若い世代魅力的なまちづくりを進める
 - 各種専門学校を誘致する
 - 駅前や商店の夜間のにぎわいをつくる。
- ② 積極的なPRを進める
 - 校区の良さを小中高生に伝える

3. 子どもにやさしいまち

- ① 子どもが楽しめるまちづくりを進める
 - 駐車場のある公園の整備
 - 児童図書館など子どもが集まれる場の創出
- ② 子どもの安全を確保する
 - 安全な通学路を整備する

4. 交通の利便性の高いまち

- ① 鉄道高架と関連道路整備を進める
 - 鉄道高架と関連道路の早期整備
 - 生活道路の整備・舗装の徹底
- ② 交通アクセスの充実を図る
 - ・ 片浜駅と商業施設などの拠点とを結ぶ直通バスの検討
 - 片浜駅付近の駐車場の整備

1. 豊かな自然環境がある

- 沼川沿いの桜並木がきれい
- 富士山を望む景観が素晴らしい など

2. 子育て環境が充実している

- 小・中学校が近く高校通学も便利
- PTA活動が盛んに行われている など

3. 生活の利便性が高い

- 大型商業施設が近くにあり買い物が便利
- 駅近で治安もよく住みやすい環境 など

4. 地域住民のつながりが良い

- 地域コミュニティがしっかりまとまっている
- 住民による高齢者や障害者へのサポート など

グ 校区の課題

1. 少子高齢化が進んでいる

- 子どもが減り地域行事への参加も少ない
- 高齢化により自治会活動が難しくなっている など

2. 防災面の安全・安心に課題がある

- 大雨時の水害対策が不安
- 地震による津波被害が心配 など

3. 道路・交通環境に課題がある

AND MAKED THE STATE OF A

- バスの本数が少なく不便
- 歩道が整備されていない
 - 踏切による閉鎖時間が長い など

4. 生活環境に問題がある

● ゴミ出しのルールが守られていない など

校区のまちづくりの方向

在24版图图图图的

1. 沼川を活かしたにぎわいづくり

- ① 観光資源としての活用を進める
 - 沼川の桜をPRして観光誘客につなげる
 - 適切な管理をして次世代に引き継ぐ

2. 交通の利便性の高いまち

- ① 道路・踏切環境の改善を進める
 - My City Reportアプリの活用
 - 踏切環境についてのJRとの連携・協力
- ② 公共交通の利便性を高める
 - 駅と商業施設などの拠点を結ぶ周遊バスの検討
 - コミュニティバスや乗り合いタクシーの検討

3. 安全・安心なまち

- ① 水害対策の基盤整備を進める
 - 沼川の浚渫工事や放水路の整備を進める
- ② 災害時の対応の周知を図る
 - 津波避難訓練の強化
 - 防災マニュアルの周知を徹底する

4. 住民が住みやすさを感じるまち

- ① 子育てのしやすいまち
 - 放課後に児童が過ごせる場の整備
 - 防犯カメラの設置など見守り体制の強化
- ② 高齢者にやさしいまち
 - 一人暮らしの高齢世帯への声掛け
 - 高齢者見守りチームの設置
- ③ 住みやすい校区であることの周知を図る
 - コンパクトシティであることをPRする
- 4) コミュニティ活動の充実を図る
 - イベントなどの開催でコミュニティを活性化させる
 - ・ 少子高齢化に合わせた地区活動の在り方(自治 会役員の負担軽減)の検討
 - 住民の相談機能の充実